

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：母子父子寡婦福祉資金貸付支出 項：事務費 目：事務費

事業名 新 母子父子寡婦福祉資金管理システム改修費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども家庭課 家庭支援係 電話番号：058-272-1111 (内 2639)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,360 千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,360	0	0	0	0	0	3,360	0	0
決定額	3,360	0	0	0	0	0	3,360	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

母子父子寡婦福祉資金管理システムは、貸付金の適正管理を行うため、平成30年度にシステムの再開発を行い、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間については、本システムの運用業務を委託している。

全庁的なコンビニ収納等の対応に伴い必要となる既存システムの改修を行う。

(2) 事業内容

償還金のコンビニ収納の対応

(3) 県負担・補助率の考え方

県10 / 10

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,360	システム改修
合計	3,360	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 国・他県の状況

母子父子寡婦福祉資金償還金 対応団体 4 / 46 都道府県

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

無

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和4年度にシステム改修を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

改修業務については単年度で行われるため、指標の設定が困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 母子父子寡婦資金別貸付件数及び貸付額の推移								
		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度	
		件数	件数	金額	件数	件数	金額	件数	金額
	母子	207	125,994	226	143,523	259	172,041	232	151,421
	父子	9	4,474	8	3,701	12	5,844	8	6,133
	寡婦	5	2,982	3	2,592	3	2,844	7	5,905
	計	221	133,450	237	149,816	274	180,729	247	163,459
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加								
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%								
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加								
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%								

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	母子父子寡婦福祉資金償還事務の効率化を図るために必要なシステム改修である。
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 制度改正（法改正、マイナンバー制度への対応）等が行われた場合には、システム改修が必要となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 全国標準の機能を備えたパッケージによる母子父子寡婦福祉資金貸付制度に対応した管理システムを導入・運用することで、適正な資金管理を行い、円滑な制度運用ができるよう取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】